

平成 29 年 3 月 31 日

市民パブリックコメントの結果公表

- 1 政策案の名称 黒部市子どもの貧困支援体制整備計画（案）
 2 政策案の公表日 平成 29 年 2 月 21 日（火）
 3 意見募集期間 平成 29 年 2 月 21 日（火）～平成 29 年 3 月 22 日（水）
 4 募集結果 (1) 提出者数 2 人
 (2) 提出方法 電子メール 2 人
 (3) 意見総数 14 件

5 パブリックコメントへの対応

No.	意見等の概要	政策案の該当箇所	市の考え方
1	①生活困窮者等の子どもは、他の子と比べて課外活動などの体験が不足している。	多様な体験活動の機会の提供	放課後児童クラブや放課後子ども教室等での体験活動の充実を検討してまいります。
	②子どもが困ったとき、親以外の身近な大人が相談に乗ってあげてほしい。	学校終了後の居場所づくり	子どもの居場所づくりを通じ、身近な大人が相談に乗れるような体制を検討してまいります。
	③早期発見早期支援により、貧困の連鎖を断ち切ってほしい。	支援が必要な児童等の予防・早期発見に向けた取組強化	妊娠期からの相談体制や乳児家庭の全戸訪問を強化し、必要に応じて関係部署・機関が連携し、取り組んでまいります。
2	④高等学校における中途退学防止・居場所や相談場所の設置を検討してほしい。	学校をプラットフォームとした総合的な貧困対策の展開	学校や子どもが抱える問題の解決に向けて、専門家を活用した相談体制の充実に配慮してまいります。
	⑤ひとり親世帯等の子どもへの学習支援について、民間で学習指導をしているプロの指導員による学習支援の検討や、学習支援箇所までの移動手段を考慮してほしい。	関係団体と連携した学習支援	子どもの居場所づくりを含む生活支援や学習支援とその場所について、地域や民間等と連携した取り組みについて検討してまいります。

No.	意見等の概要	政策案の該当箇所	市の考え方
2	⑥大学進学に対する教育機会の提供に関し、大学卒業後の地元就職等を条件に、貸付型から給付型の奨学金への切り替え可能な奨学金制度を作ってはどうか。	大学等進学に対する教育機会の提供	大学進学のための給付型奨学金について、国の給付型奨学金制度の動向を見ながら検討してまいります。
	⑦高等学校での17歳の挑戦を実施することで、卒業後の早期離職を防止してはどうか。	多様な体験活動の機会の提供	主体的に進路を選択できるよう、体験的な活動を充実させ、勤労観や職業観の育成に努めます。
	⑧市役所食堂の料金を少し多めに寄付としてとり、子ども食堂の日を設けてはどうか。	子どもの食事・栄養状態の確保	アンケート結果によれば、子ども食堂の需要が少ないと見ておりますが、子どもの居場所づくりとして検討してまいります。
	⑨様々な社会的資源・自治体・民間との連携や、「子ども・若者支援地域協議会」の設置を検討してほしい。	関係機関が連携した包括的な支援体制の整備	福祉、教育、民間団体等が連携を図り、情報共有の場をもち、ネットワークの構築について検討してまいります。
	⑩学校後の居場所づくりについて、「放課後子ども教室」を重点的に実施してほしい。	学校終了後の居場所づくり	「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」など、子どもの居場所づくりの充実を検討してまいります。
	⑪空き家を活用した住宅支援を検討してほしい。	住宅支援	空き家の活用について検討してまいります。
	⑫ハローワークや東部生活自立支援センター等との連携を密に行ってほしい。	関係機関との連携による就労相談・支援	現在も関係機関等と連携しながら支援を行っておりますが、今後さらに密な連携ができるようにしてまいります。
	⑬お金の使い方を指導する家計相談支援体制を作してほしい。	支援体制の充実	母子・父子自立支援員等による相談体制の強化について取り組んでまいります。
	⑭周知に向けて、市民が参加できる講演会・勉強会を開催してほしい。	支援制度等の周知に対する取組	まずは、わかりやすいホームページやガイドブックづくり、SNSの活用から検討してまいります。

*問い合わせ先（こども支援課）